



敬天愛人

2018年7月28日（土）台風12号が日本に上陸しました。この台風は東から西に進むというきわめて珍しい進路をとりました。この日は福岡でエンドオブライフ・ケア協会の二日間研修を開催していましたが、やむなく1日目のみとして2日目は中止としました。

イベント開催には、いろいろなトラブルはつきものです。しかし、この研修のために休みをとって旅程を組み、参加していただいた皆さまにも、申し訳ない思いがいっぱいになりました。なんで台風が東からやってくるのだろうか？とも思いました。

急遽、福岡での開催を追加することにしました。その日が2月10日（日）11日（祝）でした。そして、前日の2月9日（土）に鹿児島で講演会をすることになりました。

小齋平先生、浜田先生に東奔西走していただき、素晴らしい企画になり、新聞にもこの企画が取り上げられました。浜田先生には、プレゼンテーションの「天下一武道会」に参加していただき、優勝もされました。そして、まったくの手作りの集会にもかかわらず、500名弱の参加者がありました。

もし台風が来なければ、この講演会はなかったことでしょう。もし、2月10日（日）11日（祝）に予定が入っていれば、9日土曜日に鹿児島に来ることもできなかったことでしょう。

苦しんでいるときには、なんでこんな目に遭うの？と思うかもしれません。しかし、天に示された道にしたがって進めば、多くのめぐみをいただくことになると改めて感じました。

ホスピスという現場で学んで来たことは、すべての出来事には意味があるということでした。そのときには、苦しみの意味が見えなくても、振り返ってみた時、大切な何かの出発点になっていたことに気づきます。

9日の朝、宿泊していたホテルから鹿児島市内をジョギングしました。加治屋町では西郷隆盛生誕の地に立ち寄り、維新の思いを感じてきました。

「敬天愛人」、これは西郷さんの言葉です。これからの時代、人口減少時代を迎え、人生の最終

段階を迎えた人と、それを支えようとする人は、様々な困難と向き合わないといけません。このような時代だからこそ、天の道を聴き、人を愛する西郷さんの思想を心にとめながら、今日一日、精一杯、与えられたミッションに向けて生きようと思います。 小澤竹俊

緩和医療学会 専門医と認定医

緩和医療学会の認定医・専門医試験が2018年7月に開催され、めぐみ在宅クリニックでは受験資格のある医師が受けました。そして、無事に緩和医療学会専門医1名、認定医4名合格となりました。今まで暫定指導医であった院長も正式に緩和医療学会専門医として、指導にあたることとなります。2019年4月からも緩和医療学会の認定施設として、地域での緩和ケアの充実に寄与して参ります。よろしくお願ひします。

慈恵医大 家庭医実習

めぐみ在宅クリニックでは、東京慈恵会医科大学の医学生が家庭医実習を受け入れています。2019年1月28日から2月1日まで、医学部医学科4年生が実習に来ました。大学病院では経験できない在宅緩和ケアの現場を肌で感じる機会となりました。病気を診ずして病人を診よという慈恵医大の建学の精神を心にとめながら、素晴らしい医師になることを応援していきたいと思ひます。

診 療 実 績

	2006- 2017年	2018年 1-10月	2018年 11月	2018年 12月	2018年 計	2019年 1月	総計
訪問回数	60,086	8,850	921	896	10,667	880	71,633
自宅永眠	1,985	215	24	28	267	21	2,273
施設永眠	281	57	5	6	68	4	353
在宅 (自宅+施設)	2,266	272	29	34	335	25	2,626
病院永眠	594	104	8	5	117	14	725